

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2012年10月-1)第23号(再編集)

活動日	時間	天候	記録者
2012年10月10日(水)	9:30~11:30	(晴)	(菅田)
2015年2月25日(水)	9:30~11:30	(晴)	
2015年3月25日(水)	9:30~11:30	(晴)	
2015年6月11日(木)	9:30~11:30	(晴)	
2025年10月7日(火)	9:30~11:30	(晴)	
参加者氏名	鎌田 悦一 菅田 忠志 木田 育義 国里 吉秀 小泉 宏 小林 澄夫 佐藤 泰仙		
	塩ノ谷年子 清水英輔 谷口 博 中山 昌三 萩原 一宏 水島 康夫 水島 麗子		
	松本治美 黒崎幸雄 山田喜藏 中山昌三 俵貴志子 橋野美子 磯野彰夫		
	米倉 進 山下暁美		
作業内容	観察小屋ができる以前のカブトムシ産卵・生育場所づくり		

2012年10月10日



当初は特にはっきりしたノウハウもなく、初歩的な知識と感覚で試行してきた。資材購入の予算もなくこの辺りが精いっぱいの出来具合。



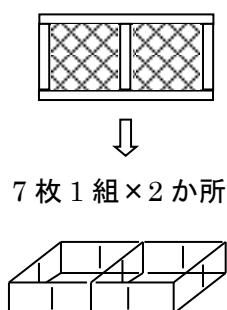
ほぼ完了。
この中で多くのカブトムシの幼虫
が冬を越してくれることだろう。



羽化前までの幼虫生育にはこの状態でも大丈夫？
当時はまだイノシシ被害も確認されていない時期だった
記憶あり。

2015 年 2 月 25 日

イノシシ除け 金網木枠作成作業



この時期あたりから徐々にイノシシによる掘り起こし被害が出始め、木枠とな網による策作りを開始。
費用はあちこちから助成金がいただけたので助かった。ありがとうございました。

2015 年 3 月 25 日

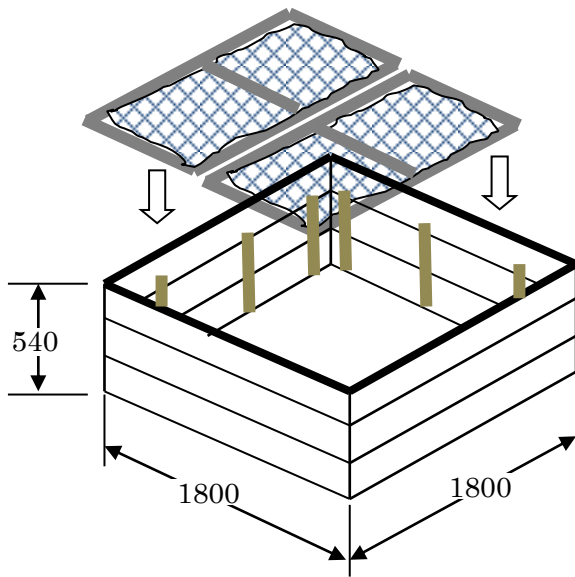


しっかり防腐塗装。



カブトムシ産卵・生育場所 4 か所に設置予定。今回
6 枚完了、今後も作業は続け合計 28 枚作成する。

2015 年 6 月 11 日

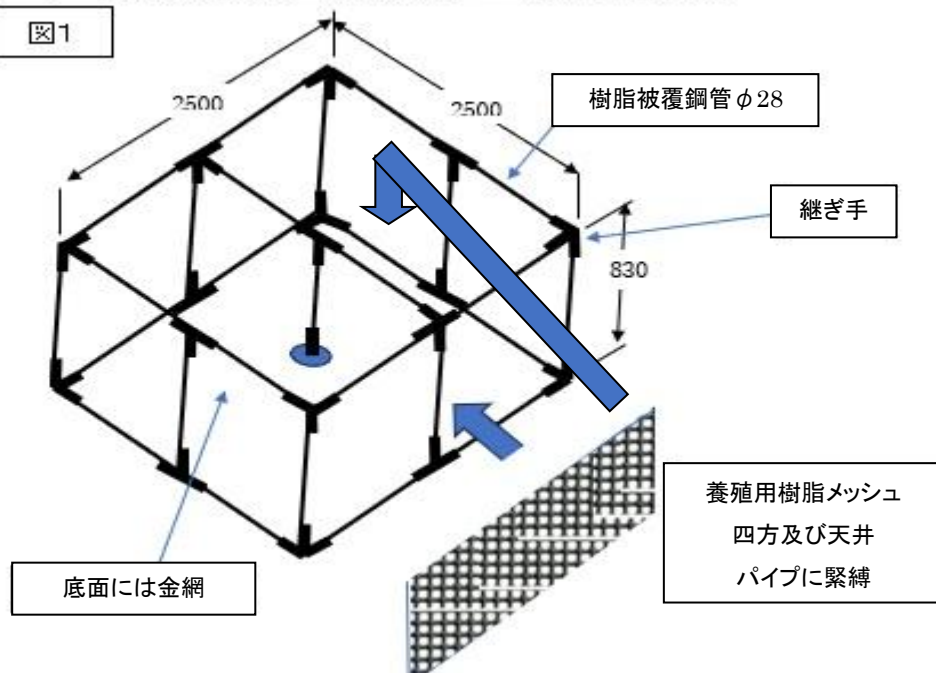


カブトムシもそろそろ羽化し成虫となる頃、半分は自然飛散も考慮しながら、半分は飛散防止の金網枠を設置し、子どもたちの自然体験学習の教材になってもらおうと金網枠の試作品を作成。

2025 年 10 月 7 日 観察小屋とは別に恒久的な資材による産卵・生育場所を作成

カブトムシ生育場所用圓い枠 樹脂被覆鋼管+樹脂メッシュ方式

図1





樹脂被覆鋼管パイプのコーナーを継ぎ手に差し込み組み立てていく。今回継ぎ手に採用したものは、接着式ではなく、ねじ込み式としているため、組立・解体が自在なことが特徴。



出入り自在な入口部の組立



天井部も取付て完成。